

2026 年 9 月 1 日

各 位

株式会社三井住友銀行

大阪ガス都市開発プライベートリート投資法人への
シンジケーション形式による「グリーンローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、大阪ガス都市開発プライベートリート投資法人（執行役員：岡本 明/以下、「本投資法人」）に対し、本投資法人が策定したグリーンローン・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）に基づくシンジケーション形式のグリーンローン（以下、「本ローン」）を組成いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、②対象プロジェクトを適切に評価・選定しており、③調達資金が確実に追跡管理され、④それらについて融資後のレポートイングを通じ透明性が確保されたものを指します。

本投資法人のスポンサーは、近畿地方を拠点とし日本を代表するエネルギー会社である大阪ガス株式会社、及び「アーバネックス」ブランドを展開する等、豊富な不動産開発、運用実績を有する大阪ガス都市開発株式会社です。また、本投資法人の資産運用会社である大阪ガス都市開発アセットマネジメント株式会社は、投資主価値の最大化を追求するとともに、ESG（環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance））へ配慮した不動産投資運用を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。本投資法人は、環境性能に優れた不動産への投資に向け、大阪ガス都市開発株式会社が有する不動産の運営管理に関するノウハウを活用し、今後も保有資産における省エネルギー・環境配慮、生活の安全性や事業の継続性の確保等を一層推進していく方針としています。

今般、本投資法人は、このような取り組みの一環として、本フレームワークに定める適格クライテリアを充足するプロジェクトに係る既存借入金の借り換えを資金使途として、グリーンローンを調達いたしました。本フレームワークは、第三者評価として株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際金融業界団体の LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「グリーンローン原則」、並びに、環境省にて策定された「グリーンローンガイドライン」等において求められる項目について基準を満たしているとの評価を得ています。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成に一層貢献してまいります。

【本ローンの概要】

契約日	2026 年 8 月 27 日
実行日	2026 年 8 月 31 日
契約金額	50 億円
契約期間	3 年
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
資金使途	本フレームワークに定める適格クライテリアを満たすグリーンビルディング取得資金のリファイナンス

(参考)

大阪ガス都市開発プライベートリート投資法人ホームページ：

<https://og-reit.co.jp/>をご参照ください。

株式会社日本格付研究所（JCR）による評価結果：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

法人戦略部サステナブルソリューション室

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。